

1 栃木県における土地利用上の課題

○メガソーラーの急増

- ・大規模開発28件(過去3年間)のうち太陽光発電24件
- ・太陽光発電(再生可能エネルギー)に対する姿勢

○人口減少下における規制のあり方

- ・人口増対策 ←→ コンパクト化
- ・人口減少に対する危機感からくる開発迎合の風潮

○要求されるスピード感

- ・時間は事業者にとって強い負担感

2 土地利用調整の現状

○庁内調整会議・事前協議

- ・「栃木県土地利用対策委員会」・組織図(裏面)のとおり
- ・大規模開発(原則5ha以上)は事前協議

○38条審議会「栃木県国土利用計画審議会」

- ・土地利用基本計画(計画図)の変更等
通常は年度末に開催
大所高所に立った議論を期待

3 地方分権改革に関する提案

「国土利用計画法に基づき都道府県が土地利用計画(計画図)を変更する際に義務付けられている国土交通大臣への協議を廃止し事後報告とすべき」

- ・計画図の変更協議については個別法に基づく手続きの事後・重複であり形骸化
- ・土地利用基本計画制度の利活用については地方の自主性に委ねるべき

栃木県土地利用対策委員会組織図

(平成27年度)

